



## 第 6 回ふくしま学（楽）会

### ふくしまから伝えたいこと、知らなければいけないこと。

#### 事前企画

8月2日(日)に開催される第6回ふくしま学（楽）会「対話の場」の事前企画として、前日に「学びの場」を開催します。対話の場の限られた時間では共有しきれない、掘り下げたテーマの学びや対話を行います。共に学び考える時間を設定しました。8月2日（日）の「対話の場」と、併せて参加ください。

日 時：2020年8月1日（土）「学びの場」13:00-17:30

（こちらは8月2日（日）「対話の場」の事前企画です。2日の企画にご参加いただけてなくても、聴講いただけます。）

#### 「地域におけるアート：コミュニティの拠点となる学校」 菊池宏子、林曉甫（NPO 法人インビジブル）

13:00～15:00



NPO 法人インビジブルは、国内外でアートをきっかけに、見えにくい大切なものに目を向け可視化し続けることで、社会を動かす小さな変化を生み出すプロジェクトを展開しています。そこでトーク前半、事例を活用しながらアートの捉え方や地域コミュニティにおけるアートの役割についてお話し、後半は、コミュニティの拠点となる学校を目指す富岡町の活動として、3年前から富岡町立小中学校を舞台に行っている、各界のプロ、クリエイティブな職種の人が「プロの転校生」として、教室を仕事場としながら子ども達と学校生活を共にする機会「PinS プロジェクト」の取り組みについて紹介します。参加者のみなさまとの意見交換を行いながら、テーマについて考える時間となることを願っています。（講義1時間＋質疑1時間を予定）

#### 「放射能差別とコロナ差別」 菅波香織（未来会議事務局長、弁護士）

15:30～17:30



新型コロナウイルスへの不安などから、「コロナ差別」が起きているとの報道があります。その状況は、私たちが原発事故後に経験した放射能差別と似ている面があるとも感じますが、ウイルスは感染するという意味で違う面もあるようにも思います。私たちの心に大きな不安をもたらす状況が起こっている今、「関東から自分たちの地域に来て欲しくない」など、自分の中に沸いてくる「感情」に「差別」と似た部分を感じたり、感染を防ぐための行動や言葉について悩みを感じたりすることもあります。「差別」というキーワードを中心に、みなさんで、いろいろなことを考えてみたいと思います。（講義1時間＋質疑1時間を予定）

会 場：Zoom 開催

参加費：無料 ただし、参加登録を早稲田大学レジリエンス研究所 Web 内のリンクより第6回ふくしま学（楽）会の申し込みにお進みください（必須）。 <http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>

主 催：早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・早稲田大学レジリエンス研究所（WRII）

共 催：福島県広野町（予）

後 援：双葉地方町村会（予）、早稲田大学アジア太平洋研究センター（WIAPS）、早稲田大学環境総合研究センター（WERI）

問合せ先： 電話 0240-27-1251 福島県広野町復興企画課 担当：大和田  
03-5292-3526 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事務局  
e-mail jyuten-fukkou@list.waseda.jp 早稲田大学レジリエンス研究所



参加登録アドレス

本事業は、2020年度 大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業の支援により実施しています。

